あびら回顧録～平成19年2月号

主なできごと（紙面から）　安平消防署職員が早来中学校へ合格祈願の絵馬を寄贈

人口と世帯　平成19年1月末 9,298人
4,223世帯

広報あびら平成19年2月号は、新成人の晴れ晴れしい笑顔が表紙を飾りました。
かくいう、彼らも今や30歳。
当時の元気は今も健在でしょうか…。

祝 成人

1月7日 追分公民館で平成19年成人式が行われ、対象者106名中68名が出席。安平町として初めての式典に町長や議長などが二十歳の門出を祝福しました。
ロビーでは同級生や中学校の先生との再会に楽しい会話が弾んでいました。

成人誓いのことば

本日は、私たち新成人の門出をお祝い下さいまして、誠にありがとうございます。

私たちは、多くの友人とともに大人の仲間入りを迎えることができましたが、父母はもちろんのこと、地域社会の様々な方に温かく見守られたことへの感謝の気持ちとともに、大きな責任がともなう新たな出発に少なからず不安を感じています。

今日の日を境にもう一度自分の足元を見つめ直し、成人として自覚ある行動をとることが、私たちに課せられた大きな責任であると思います。

我々には予想がつかないような大きな天災、未だ頻繁に繰り返される紛争等、今日の世界情勢は極めて不安であるといえます。日本においても、弱者を標的にした凶悪事件、犯罪の低年齢化、少子高齢社会の到来など、私たちを取り巻く環境は、必ずしも明るい状況ではないのが現状です。

しかし、このような時代だからこそ、自らの可能性を信じ、夢と希望そして限りない創造力を持って、何事にも果敢に挑戦していく気持ちを忘れず、成人としての第一歩を力強く踏み出したいと思います。

私たちは、安平町として最初の年に成人を迎えることとなります。この新しい町を築いていくために、この地でともに学び、遊んだ多くの友と、今日という区切りの日をもう一度深くかみしめ、社会人として豊かな心をもち、目標を掲げ、たゆまぬ努力と研鑽を積んでいきます。

成人を迎えたといっても、まだまだ未熟である私たちです。本日は集まりの皆さま、今後とも良き先輩としてご指導下さいますよう、心からお願い申しあげます。

最後になりましたが、このような盛大な式典を開催して下さいました皆さまに対し、心から感謝し、成人の誓いの言葉とさせていただきます。

平成19年1月7日

右ページにある今年の成人式会場も、旧友や恩師との再会に笑顔と笑い声が響き渡りました。
これまで一度もクラス会をしていないと思った方は、ぜひ集まる機会を設けてみては？
20年以上の間が空いている場合は、同級生だっけ？と思うほど見違えてしまっているかも。